

「平成26年度トビリシ市、ゴリ市及びシャヴシュヴェビ国内避難民(IDP)居住地社会福祉施設整備計画」供与式

於:トビリシ市 / 2015年10月28日

2015年10月28日、貝谷大使夫妻が出席してトビリシ市の社会福祉施設「リハビリテーションセンター・サンカミロ」にて「平成26年トビリシ市、ゴリ市及びシャヴシュヴェビ国内避難民(IDP)居住地社会福祉施設整備計画」供与式が行われました。カミアンズ・ジョージア支部代表のディル神父、及びチェシュコフスキ当地ポーランド大使夫妻、来賓としてカトリック教会コーカサス支部パソット司教、その他ゴリ地区とシャヴシュヴェビIDP居住地の社会センター代表等が出席しました。

我が国の支援によりトビリシ市、ゴリ地区ゴリ市、同地区シャヴシュヴェビIDP居住地の計3か所の社会福祉施設に陶芸機器セットを整備しました。また、在ジョージア・ポーランド大使館が陶芸ワークショップを支援し、日本とポーランドの協調案件となりました。本計画により、障がい児が陶芸機器を利用して機能訓練・自立支援・就労訓練を受けることができるようになりました。



大使夫人による
テープカット



歓迎の歌
リハビリテーションセンター・サンカミロ
(トビリシ市)



社会センター「グランマの家」(ゴリ地区シャヴシュヴェビ国内避難民(IDP)居住地)



「ゴリ市社会福祉センター」(ゴリ地区)